

進路だより

No.33

【思いやり】

『言葉が変われば心が変わる』

府立特別選抜の進め方

まだ私立高校の出願・入学試験が終わらないのに、次の準備をしなければならないのはちょっと気持ちが… とも思いますが、始めていきます。実技検査のある学校と面接がある学校が特別入学者選抜を実施します。例年、受検する人は少ないですが、私立高校を受験しない人で、府立高校の志望校をまだ悩んでいる人、特別選抜を受検しようと思っている人が、直前になって書類作成を焦らなくてもよいために、早いうちに連絡をしておきます。下のような流れになりますので、しっかり読んで大切に遅れないように提出していきましょう。出願に関しては、コロナウィルスの感染防止のため、昨年度は、原則代理出願になりました。今年度も、原則代理出願で考えておりますので、その予定ですすめていきます。

2月4日(金)放課後までに

懇談会（各担任の先生と日程・時間設定）

受検が決定すれば、**願書、振込用紙を配布します。**

(A)検定料の振り込み

- ・絶対受けると決めている人は早くから振り込んでもらって結構です。振り込んだあとの証明書を願書の裏に貼ってもらいます。早く振込用紙がほしい人は、担任の先生に言ってください。
- ・2月7日(月)までに必ず振り込みを終えておいて下さい。
(担任への願書提出は2月9日(水)締切です。)
- ・岸産デザインの受検を考えている人は振り込まないで下さい。この高校は出願当日現金で支払うことになります。

(B)願書の下書きと清書(2月9日(水)提出締め切り)

- ・鉛筆で下書きをし、学校に持って来て見せて下さい。
- ・その後清書してください。

(C)自己申告書の下書きと清書(2月9日(水)提出締め切り)

- ・下書きを提出して、添削してもらい。
- ・その後清書してください。

2月14日(月)15日(火)

特別選抜一斉出願の場合14日(月)

※15日(火)も出願できます(個人で出願)

(原則代理出願)

周りへの心づかいを大切に

これから考えてほしい大事なこと

これから他府県で受験する生徒は、日程によって結果通知が早く届きます。もうすでに届いている人もいます。合格した人は、これで中学卒業後の進路が決定していくわけですから本当に一安心することでしょう。しかし、今後私立や公立入試で残念な結果に終わる人も出てきます。そこでこれから合格した人を含め、みなさんに考えてほしいこと、気をつけてほしいことを書いておきます。

先生たちの過去の経験ですが、「合格したからもう中学校で勉強をしなくてもいい」と考える人が一部に出てきます。今まで熱心に授業に取り組んでいた人が、授業を聞かなくなったり、私語で他の人に迷惑をかけるようになってしまうのです。

本当に悲しく残念なことです。その人たちにとって勉強というのは、単に受験のためだけのものだったのでしょうか？

高校合格というのは、終わりではなく始まりなのです。

合格したからといって勉強が終わりになったわけではありません。むしろ、これからより難しい高度な勉強が始まるのです。

進路が決まった人は高校での勉強に備えて、中学の勉強をしっかりと復習しておくこと。また、受験勉強中にはできなかった読書や運動、芸術関係の事など、自分の好きな事に取り組むのもいいかもしれません。時間と気持ちにゆとりができた今、受験勉強にとらわれない広い視野で勉強をして、高校での新たな学習の準備としてください。

夢は叶うと、現実として君たちの前に立ちはだかります。合格して終わりでは進歩しません。更に努力を重ねその壁を乗り越えていきましょう。

他府県や専願で合格した人は、公立高校を受ける人ががんばってもらえる環境を作ってあげてください。

学校見学会・体験授業の案内